

システム修復ディスクの作成

パソコンが起動途中で止まるようになった、起動しない、ウィルスにやられた、HDD が壊れたから取り替えるなどの「いざというとき」に必要なものに「リカバリーディスク」「バックアップ」「システム修復ディスク」があります。

リカバリーディスクはパソコンを工場出荷状態に戻すもので、現在はメーカーは添付してくれませんが個人で作成する必要があります。また、パソコンによって作成手順が違うので取扱説明書を良く読んで行って下さい。尚、工場出荷状態になるのですから個人が作成したデータは全て無くなります。

バックアップは個人データをパソコン以外の場所に保存して、パソコンの異常時に備えておくものです。容量的には外付け HDD が最も好ましく、少ないデータ量であれば DVD や BD でも良いでしょう。

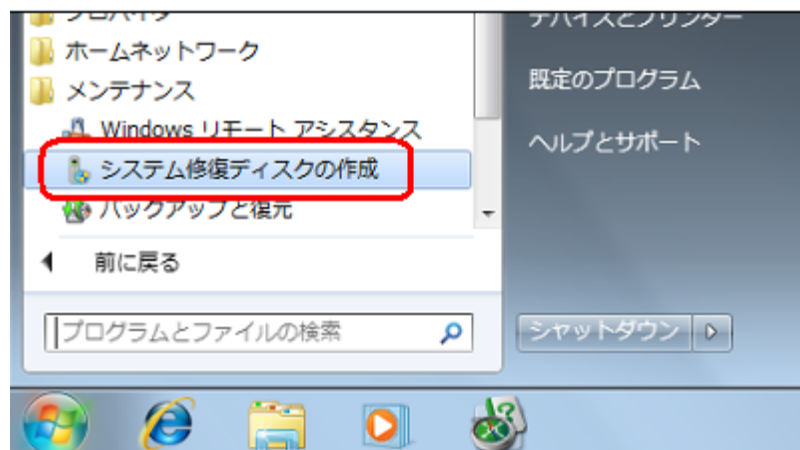
バックアップにはデータをそのままの形で保存する方法と、パソコン全体を丸ごとイメージファイルとして保存する方法があります。丸ごと保存であれば個人データからインストールソフトから全て一括して元に戻せるので大変に便利です。ただし、イメージファイルとなっていることから中身を見ることが出来ない欠点があるので、一部のデータは生データとして別途保存する併用方式をとる人もいます。

システム修復ディスクはシステムが起動出来なくなった時に上記イメージファイルからの復元のための起動に、システム修復ディスクから起動してシステム回復オプションから各種の修復を行う場合に使用します。対象となるのは Windows7,8,8.1 で、Vista はパソコンもしくは OS に同梱されているインストールディスクもしくはセットアップディスクにその機能があります。

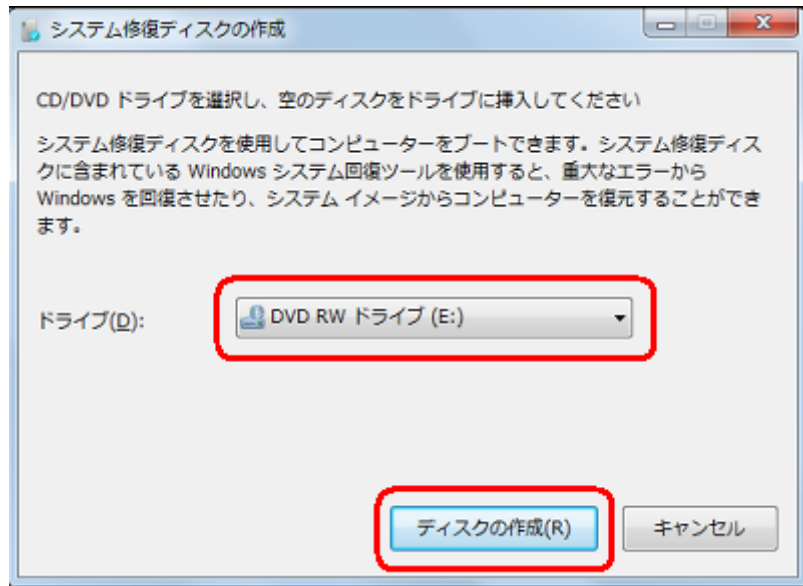
<Windows7 の場合>

システム修復ディスクは、書き込み型の CD/DVD メディアのみに作成できる。USB フラッシュメモリなどに直接作成することはできないので、CD/DVD-R ドライブが接続されていないノート PC などの場合は、外付け型のドライブを必要とする。

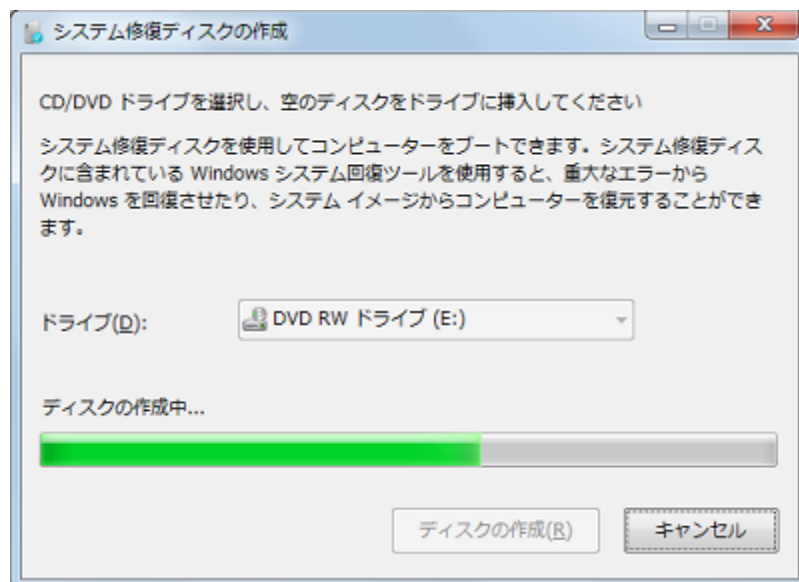
- ①「スタート」→「すべてのプログラム」→「メンテナンス」
- ②システム復元ディスクの作成



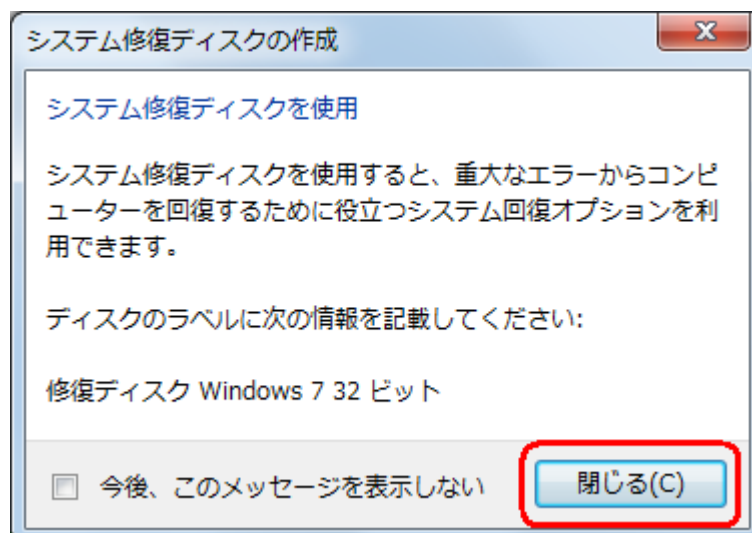
- ③「ドライブ」欄に表示されているドライブに空のメディアを挿入し、「ディスクの作成」ボタンをクリック



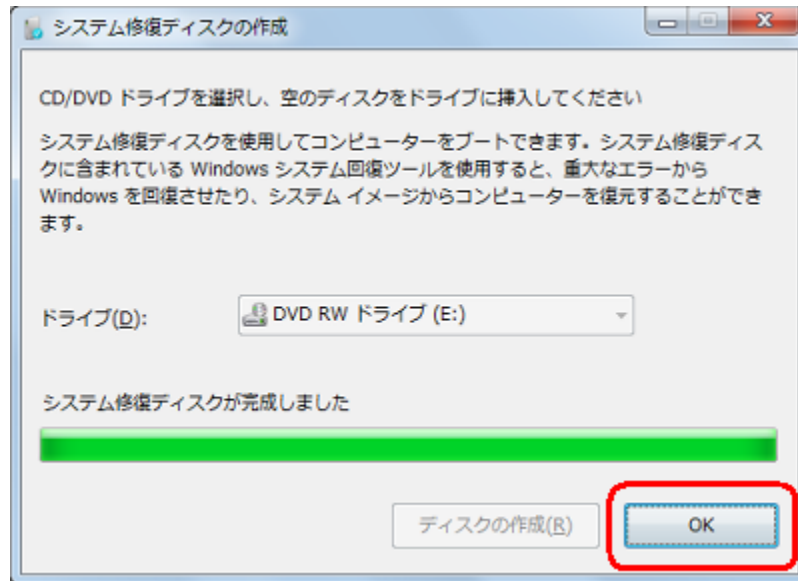
- ④システム修復ディスクの作成が始まる



- ⑤下図のような画面が表示されるので、「閉じる」ボタンをクリック



⑥ 「閉じる」 ボタンをクリックし、「システム修復ディスクの作成」画面を閉じる



<Windows8 の場合>

① デスクトップ画面を表示



② デスクトップ画面でチャームバーを表示し、[設定] チャームをクリック



③ [コントロールパネル] をクリック



④ [Windows7 のファイルの回復] をクリック

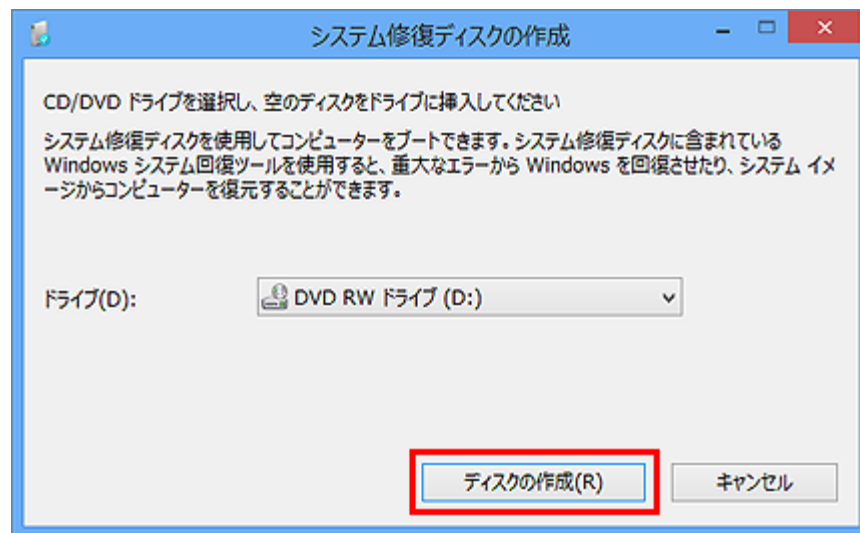


Windows7 のファイルの回復が表示されない場合は、[表示方法] のプルダウンで [大きいアイコン] を選ぶ

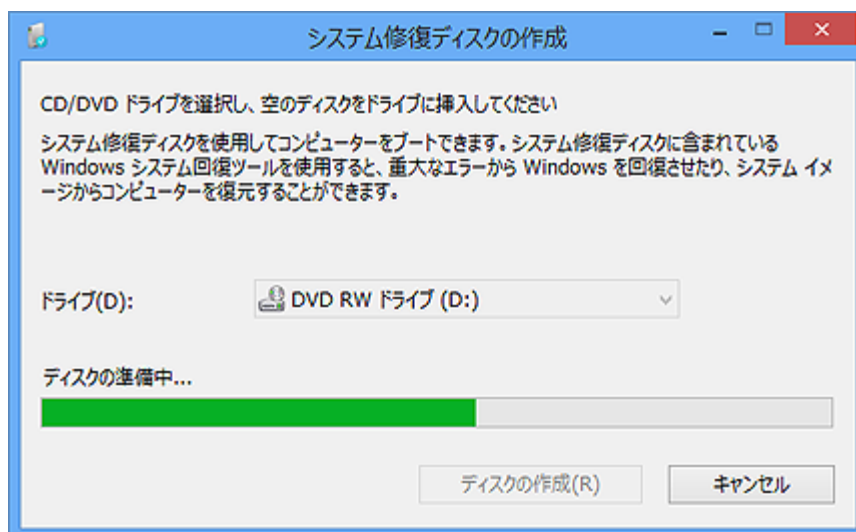
⑤ [システム修復ディスクの作成] をクリック



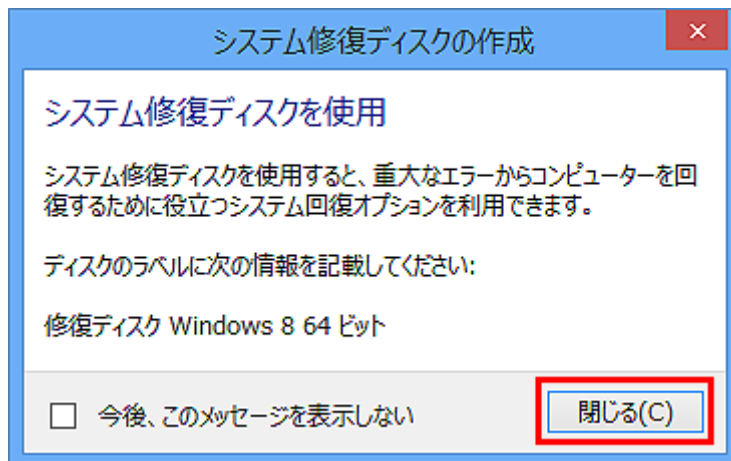
⑥ CD / DVD メディアをドライブに挿入し、[ディスクの作成(R)] ボタンをクリック



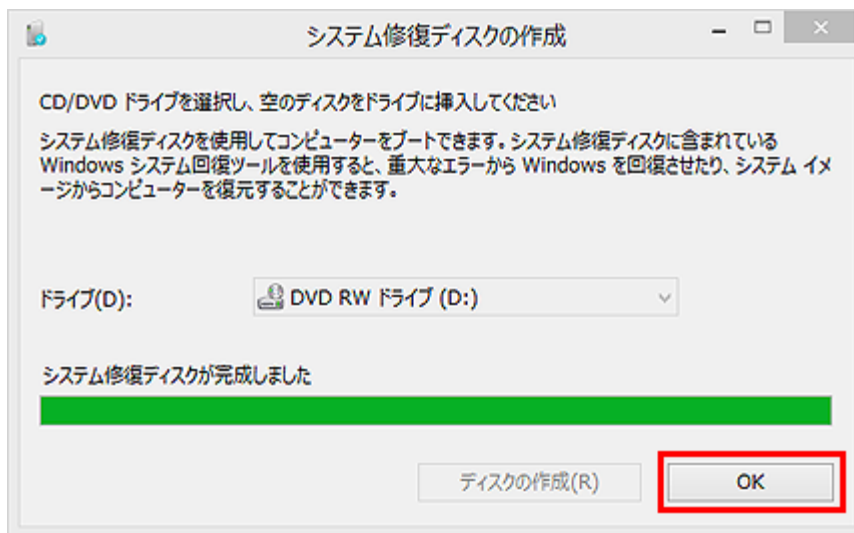
⑦ システム修復ディスクの作成が開始される



⑧[システム修復ディスクを使用] 画面が表示される。[閉じる(C)] ボタンをクリック。



⑨[システム修復ディスクの作成] 画面に戻りまる。[OK] ボタンをクリック。

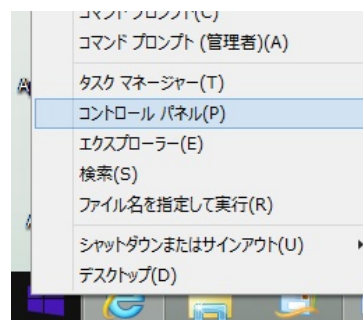


注) Windows8 には「回復ドライブ」を USB メモリに作成する機能がありますので、興味のある人は[ここ](#)を参照して下さい。

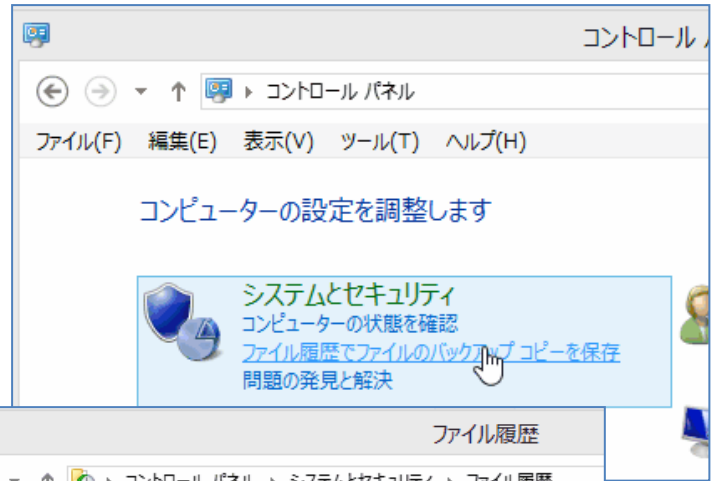
<Windows8.1 の場合>

Windows8.1 はシステム修復ディスクのメニューがなく、USB メモリに作成する「USB 回復ドライブ」に変わっている。尚、Windows8.1 のインストールディスクがある場合はそれでシステム修復が可能。8 から 8.1 へアップグレードした場合は USB 回復ドライブを作成しておく必要がある。

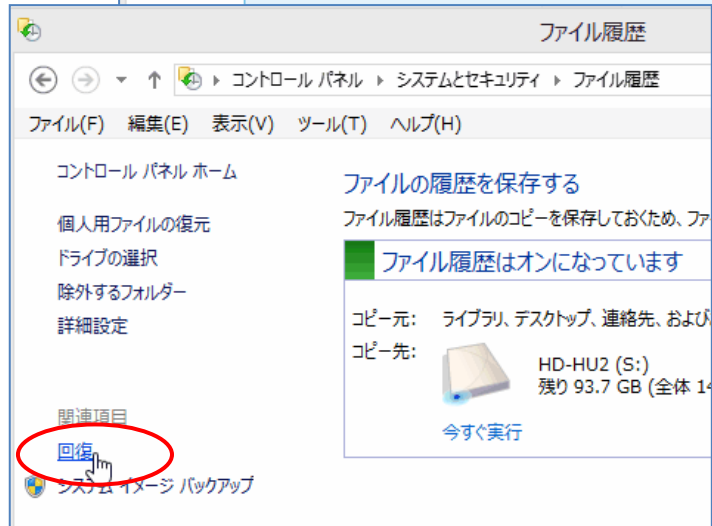
①スタート右クリック→コントロールパネル



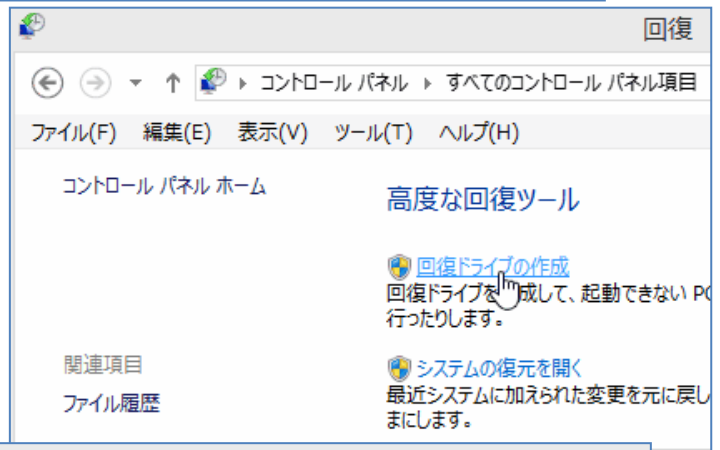
②システムとセキュリティの「ファイル履歴でファイルのバックアップコピーを保存」をクリック



③左下の回復をクリック



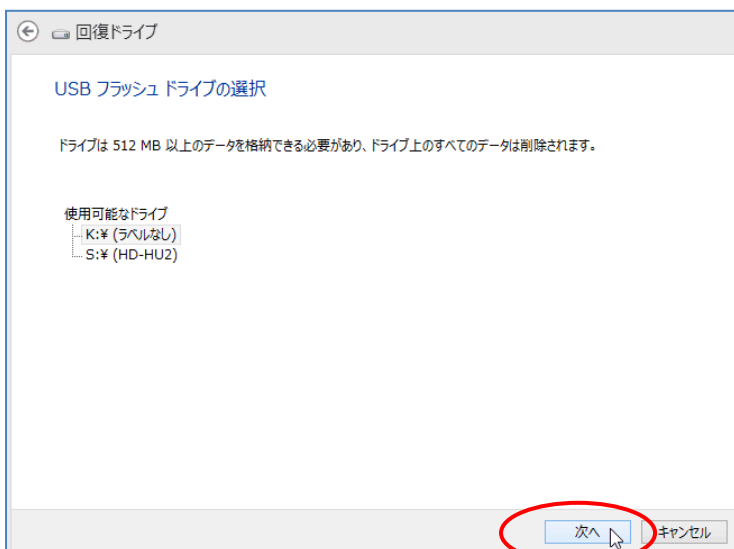
④回復ドライブの作成をクリック




⑤回復ドライブウィンドウが表示
USB メモリをセットして
次へ



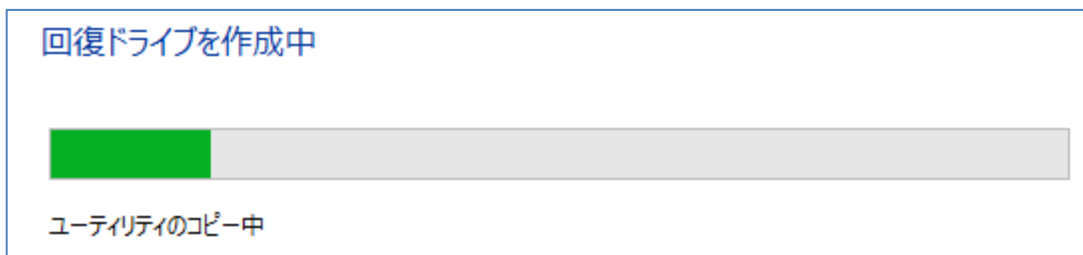
- ⑥保存先の USB メモリを選択して「次へ」
保存先を間違えると大事なデータが削除されてしまうのでよく確認してから「次へ」ボタンをクリックする。尚、この USB メモリは他のデータ書き込み厳禁。回復ドライブ専用として保管。



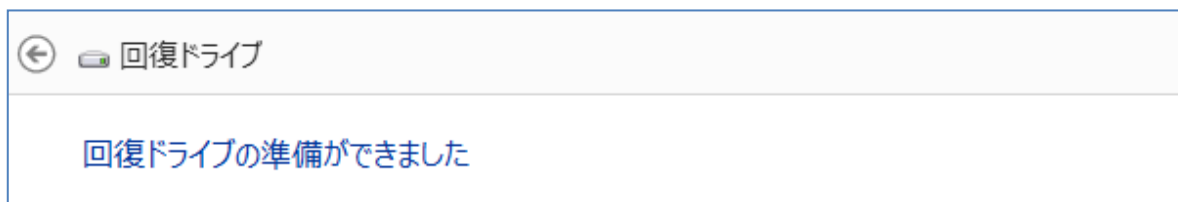
- ⑦下記確認メッセージが出る

 ドライブ上のすべてのデータが削除されます。このドライブに個人ファイルが含まれている場合は、バックアップしているか確認してください。

- ⑧回復ドライブが作成される（数分で終了する）



- ⑨完了



システム修復ディスク・回復ドライブの使用方法は、使用する機会がないかも知れませんからここでは説明しません。それが必要になった時に調べて下さい。